

東京都公立大学法人 第四期中期計画の概要

第四期中期計画の方向性

計画期間：令和5(2023)年度～令和10(2028)年度

- 加速する **社会の変容を飛躍のチャンスと捉え**、「大都市における人間社会の理想像の追求」という使命を果たし、豊かな人間性、創造性を兼ね備えた、**世界で活躍できる人材を輩出**
- 強靱で**持続可能な社会の実現に貢献**し新しい時代を切り開くため、大都市が抱える課題の解決など、「**都立**」の**高等教育機関ならではの教育研究の推進**や**地域社会の発展に貢献**

4つの重点方針

社会との価値共創：都のシンクタンク的な機能を発揮し、社会とのつながりから生まれる新たな価値を創造していきます。

教育：将来の東京の成長を支える人材の育成や、学び直しの機会の提供など、学生の学びの支援を充実させます。

研究：新たな知を生み出す高度な研究を推進し、研究成果を国内外に広く発信していきます。

法人経営：社会からの要請に対して、柔軟で実効性ある施策を展開できるよう、戦略的な法人経営を展開していきます。

評価指標の設定

第四期中期計画では、計画の達成状況を測る上での主要な判断材料とするため、全ての計画に「**評価指標**」を設定しました。



東京都立大学

輝く未来を切り開く真に力のある人材を育成し、研究により人類の知を深め、絶えず新たな取組に挑戦

社会との価値共創

- 自治体との連携により **都市の課題解決に資する研究を推進**するとともに、**東京を支える人材の育成に寄与**
- **産学公連携イノベーション拠点**を形成し、社会経済の成長と成熟に貢献
- 研究・教育資源を活用し、東京都立大学プレミアム・カレッジ等多様な生涯学習の機会を提供

【主な評価指標】

- ✓ 都の課題解決に向けた調査研究
⇒ 6年間で延べ **100件** 以上
- ✓ スタートアップ企業等への支援
⇒ 年間 **10件** 以上
- ✓ 大学発ベンチャーの創出
⇒ 6年間で **24社**



TMU Innovation Hub
(日野キャンパス6号館)

教 育

- **情報及び国際金融、保健医療**分野の高度化を踏まえ、教育体制を充実
- 文理融合型の教育プログラムを導入し、社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成
- **国際通用性の高い教育と環境を提供**するとともに、国際的素養を身につけた人材を育成

【主な評価指標】

- ✓ 数理・データサイエンス副専攻
⇒ コース修了者 **毎年40名** 以上
- ✓ 国際金融プログラムの導入
⇒ 新規履修者 **毎年10名** 以上
- ✓ 都立大在籍留学生
⇒ 令和10年度までに **940名** 以上



令和6年度から秋入学を導入する生命科学科の授業の様子

研 究

- **トップ研究者の招へい**や若手研究者の育成を通じて、世界水準の基礎研究力を強化
- 研究センター・リサーチコアの強化により、**世界的な研究拠点を形成**
- 外部資金の獲得や研究活動の活性化、博士後期課程学生への支援を充実

【主な評価指標】

- ✓ 被引用率トップ10%論文割合
⇒ **10%** 以上維持
- ✓ トップ研究者をコアとした体制
⇒ 6年間で **2件** 以上
- ✓ 科研費獲得金額
⇒ 前期平均獲得額比 **110%** 以上



都立大HPでSDGsに関する先端研究をPR

社会との価値共創

- 自治体との連携を強化することで**シンクタンクとしての機能を発揮**
- 社会人に向けた継続的な学びの支援を展開し、教育研究成果を社会に還元
- 修了後の継続的な教育・研究支援により、**在学生と修了生との連携を強化**

【主な評価指標】

- ✓ 自治体や企業との連携活動
⇒ 新規の連携事業を **毎年創出**
- ✓ AIITフォーラムや国内外機関とのイベント
⇒ 新規テーマのプログラムを **毎年実施**
- ✓ 修了生が大学で活動できる機会
⇒ **毎年3つ** 以上提供

【Web講演会】第16回 AIITフォーラム
（「しながわ学びの社」パートナーシップ講座 共同開催）
認知症予防DX（デジタルトランスフォーメーション）
—いつでもどこでも認知症予防—



地域と連携したAIITフォーラムの開催

教育・研究

- PBL等特色ある教育システムの改善により、多様な人材が学べる教育を展開
- 地域や年代に捉われない**リカレント教育を促進する学修環境を整備**
- 産学公連携体制を構築し、産業振興に資する研究を推進するとともに、研究成果を社会に発信

【主な評価指標】

- ✓ リスキリング等の正課課程以外の教育プログラムを実施
- ✓ 学長等による企業訪問・渉外活動
⇒ **毎年3件** 以上
- ✓ 研究成果の社会への発信・還元
⇒ 令和10年度までに **常勤職員100%** が実施



ハイブリッド型授業（対面・リモート）の様子



東京都立産業技術高等専門学校

社会や産業界のニーズに応え都民や地域社会に貢献すべく、実践的かつ高度な技術者の育成を継続

社会との価値共創

- **ものづくり分野における知見を生かした講座**等を地域に提供することにより、社会課題の解決に貢献
- 持続可能な社会の実現に資する教育・研究活動を実施
- 卒業生・修了生や保護者が様々な支援を行いやすい環境を整え、学生支援に対する協力関係を強化

【主な評価指標】

- ✓ 自小中学生向けICT・IoT教育の講座
⇒ 6年間の参加者 **600名** 以上
- ✓ 再生可能なエネルギーを活用した実験実習科目のカリキュラムを採用
- ✓ 卒業生・修了生による学生向け特別講座
⇒ 品川・荒川キャンパスで **年1回** 以上開催



小学生向けプログラミング教室の様子

教育・研究

- **情報セキュリティや医工連携分野の教育を強化**することにより、産業振興等に貢献する技術者を育成
- 海外体験プログラムの充実により、学生の国際感覚を向上させ、海外で活躍できる技術者を育成
- 特別研究期間制度の利用を促進し、**ものづくりの発展に資する研究力を強化**

【主な評価指標】

- ✓ 医工連携プログラムの修了者
⇒ 令和10年度までに **延べ72名** 以上
- ✓ 海外体験プログラム参加者
⇒ 毎年度 **70名** 確保
- ✓ 特別研究期間制度の利用者
⇒ 年間 **4名**



海外体験プログラム参加者

法人運営

社会の要請が複雑に変化する中で、柔軟で実効性ある施策を展開できるよう、人的資源、財政基盤、施設など各学校の運営基盤を強化

業務運営

- 計画、予算、組織等について、戦略的な法人経営を展開
- 複雑化する行政ニーズを的確に把握し、**自治体との連携強化に向けた取組を充実**
- 性質の異なる3つの教育研究機関がある特性を最大限に活用するため、法人内連携を一層促進

【主な評価指標】

- ✓ 都との連携案件
⇒ 年間 **170件** 以上
- ✓ 法人の重要課題への対応
⇒ 毎年新たなテーマを設定

その他重要事項

- 気候変動やSDGsに対応する取組を通じて、**持続可能な社会の実現に貢献**

【主な評価指標】

- ✓ 東京都環境確保条例で定めるCO2排出量
⇒ 毎年着実に削減

カーボンニュートラル推進プラン
～気候変動を抑制し持続可能な社会を実現～



令和5年3月、カーボンニュートラル推進プランを公表